

「第7回高山市協働のまちづくりフォーラム」実施報告書

1. 目的

まちづくり協議会や市民活動団体が様々な状況の中でも創意工夫し、協働して地域課題に取り組める状態を目指す。

2. 実施日時及び会場

日時：令和4年2月5日 土曜日 13:30～15:40（入室 13:15）

会場：Zoomによるオンライン開催

3. 参加者

区 分	参加者数（件）	備 考
まちづくり協議会	31	計 16 団体
市民活動団体	6	計 6 団体
市職員	8	
一般市民	7	
その他	3	
合 計	55	

※複数人による共同視聴を含む。

※Zoom 参加可能枠の関係上、市職員の参加は極力控え、後日 YouTube 配信で視聴。

4. プログラム

(1) 主催者あいさつ

(2) 趣旨説明

(3) 活動事例の紹介

○NPO 法人すえひろ：「地域防災の活動を通して」

○MAP'04 実行委員会：「MAP'04 について」

(4) 基調講演

【演 題】アフターコロナに向けて、多様な主体とどう協働して新しい取り組みを進めていくのか～事業棚卸の手法を活かして～

【講 師】特定非営利活動法人せき・まちづくり NPO ぶうめらん

代表理事 きたむら たかゆき
北村 隆幸 氏

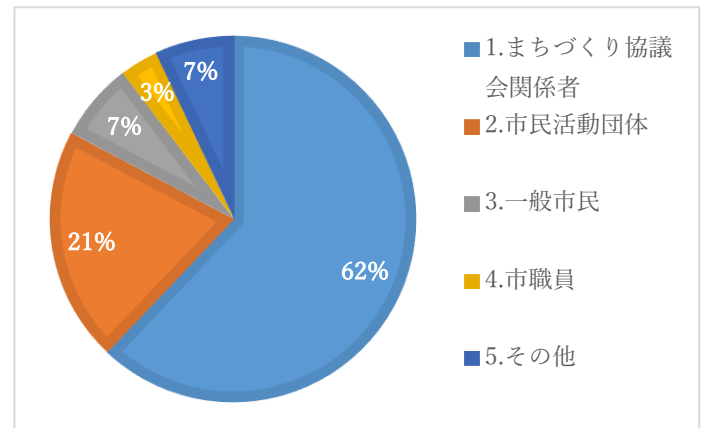
【事例発表】三枝の郷まちづくり協議会、久々野まちづくり協議会

第7回協働のまちづくりフォーラム アンケート結果

【回答者】29人 【回収率】52%（回収29件／参加者55件）

【問1】回答者の種別

年度	R3	R2
回答者	29	61
1. まちづくり協議会関係者	18	43
2. 市民活動団体	6	10
3. 一般市民	2	1
4. 市職員	1	7
5. その他	2	0

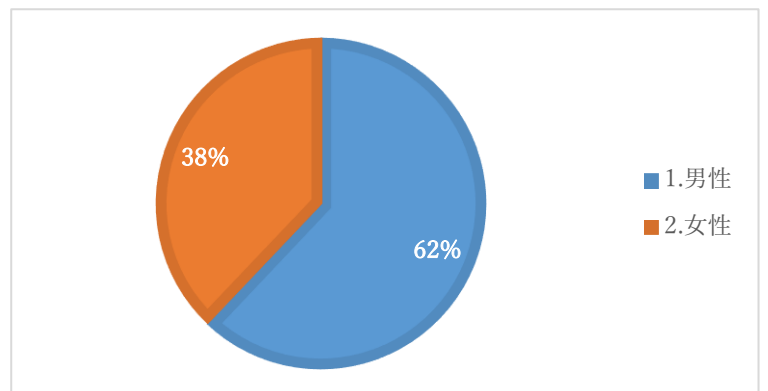


【前回（第6回）との比較】

- ・他市からの参加者もいた

【問2】回答者の性別

年度	R3	R2
回答者	29	61
1. 男性	18	41
2. 女性	11	20
3. 答えたくない	0	0

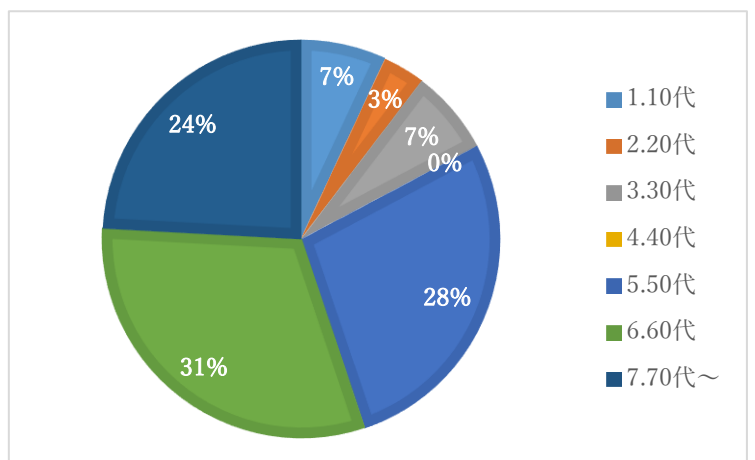


【前回（第6回）との比較】

- ・女性の参加割合が増加

【問3】回答者の年齢

年度	R3	R2
回答者	29	61
1. 10代	2	0
2. 20代	1	0
3. 30代	2	0
4. 40代	0	8
5. 50代	8	9
6. 60代	9	31
7. 70代～	7	13

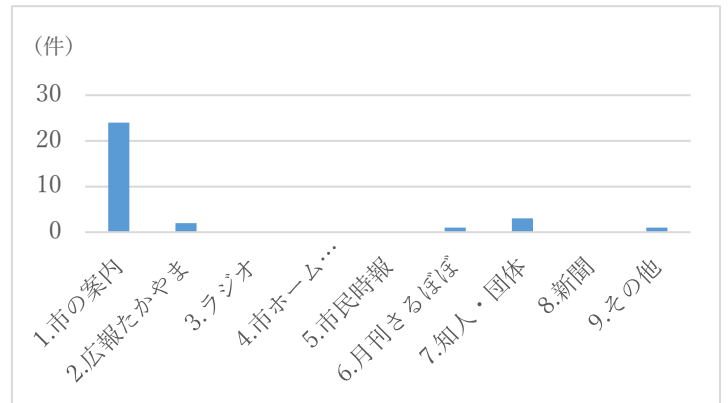


【前回（第6回）との比較】

- ・10代～30代の参加者数が増加

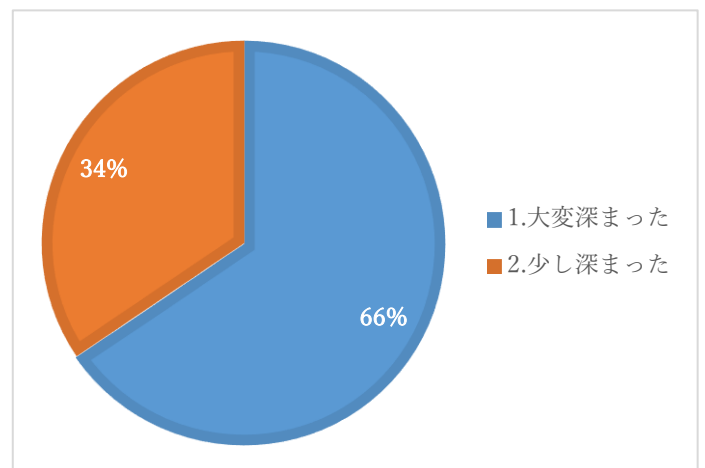
【問4】 今回のフォーラムを何で知ったか（複数回答可）

年度	R3	R2
回答数	31	76
1.市の案内	24	47
2.広報たかやま	2	12
3.ラジオ	0	0
4.市ホームページ	0	3
5.市民時報	0	—
6.月刊さるぼぼ	1	—
7.知人・団体	3	11
8.新聞	0	0
9.その他	1	3



【問5】 フォーラムに参加して、まちづくりについての関心や理解は深まりましたか

年度	R3	R2
回答者	29	61
1.大変深まった	19	44
2.少し深まった	10	16
3.あまり深まらなかった	0	1
4.全く深まらなかった	0	0



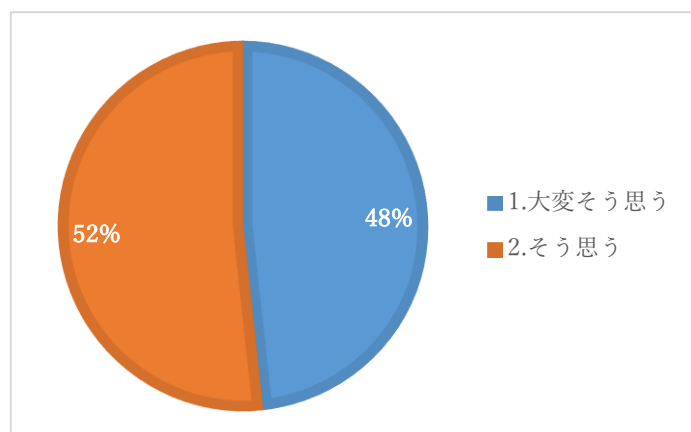
【前回（第6回）との比較】

- ・ほぼ変化なし

【問6】アフターコロナに向けて、活動の取り組み方を考えていこうと思いましたか。

回答者	29
1. 大変そう思う	14
2. そう思う	15
3. あまり思わない	0
4. 全く思わない	0

※今回からの設問の為、比較は無し

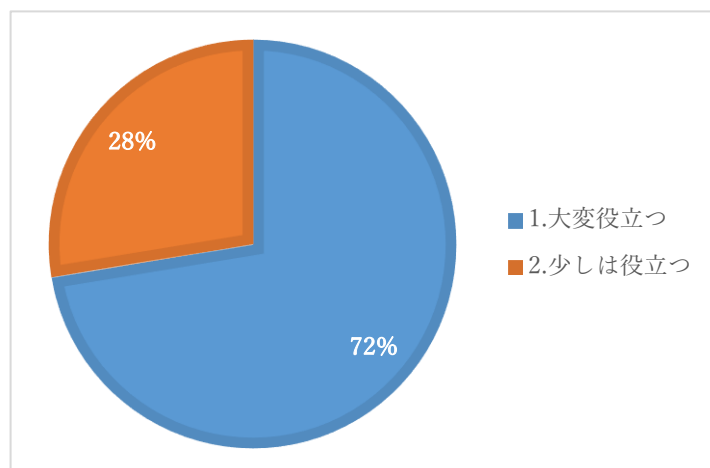


【問7】フォーラムの内容は、今後の活動に役立つ内容でしたか。

年度	R3	R2
回答者	29	61
1. 大変役立つ	21	48
2. 少しは役立つ	8	13
3. あまり役立たない	0	0
4. 全く役立たない	0	0

【前回（第6回）との比較】

- ・ほぼ変化なし



【問8】問7の回答の理由（自由記述）※協働推進課で内容を要約・抜粋しています。

- ・コロナ禍で必要に迫られ様々な工夫をしてきた中であっても、事業計画は行事やイベント中心の傾向にありました。今回、地域に密着した課題解決型の取り組みを知り、発想転換のチャンスをいただきました。
- ・様々な立場の方々から活動のお話をうかがい、それぞれ悩む、迷いを抱えながらも、未来へ希望を持って取り組んでいる姿に力をいただきました。
- ・各団体の事例発表、講師の北村先生、皆さん分かりやすく発表して下さり、アフターコロナに向けてたくさんのヒントをいただきました。
- ・事業の棚卸しについて話を聞くことで、自分のまち協の事業を見つめなおすことが出来そうなきっかけとなった。
- ・講師の北村先生の話をもっと直接聞いてみたいと思うくらいいい内容だった。
- ・北村先生の講演の中で事業の棚卸し、組織の棚卸しについてのお話があり、大変参考になったし、私も常々色々な意味で組織そのものの棚卸しが必要と考えています。
- ・地区の方の巻き込み方をどうしたらいいのかわからない。課題に向けて、少しずつ進んで行け

ば良いのか、この2年間の活動内容が次に繋がるのか不安。

- ・コロナ禍で、あらゆる行事を中止せざるを得ない状況の中、ただ中止するのではなく、どうすれば良いかを考える、いい機会になりました。
- ・この2年コロナ禍でいろいろな事業を行うのに大変苦勞をしています。今までのやり方を変えてコロナ禍の時代にあった地域づくりをして行く必要があると考えています。時間延長しても北村先生の話を知りたかったです。
- ・新しい視点や考え方が生まれてきていることを知ることができた。
- ・いろいろな実践から、自分のまち協でも使えそうなヒントをいくつも得ることが出来ました。このフォーラムはその意味で毎年有効にとらえ参加しています。
- ・関と高山市の地理的に大きな違いはありますが、大学生と地域の関係性を深めることは興味深かった。MAP'04 実行委員会の皆さんの活動は素晴らしい。勇気づけられました。
- ・コロナ禍で計画通りに行事が出来ない中、次年度に向けて「棚卸ワークシート」を活用して見える化することで次に繋げていけると思います。
- ・地域と学校との関わりがとても良い。
- ・ピンチが新たなチャンスになると実感しました。具体的な視点のとらえ方が大変参考になりました。
- ・高山市と関市のUターンへの取組や実態を直接知ることができました。市民活動が活発な様子を知ることができ具体的な相談に結びつけていきたいと思えます。

【問9】フォーラムについて、今後取り上げてほしいテーマ・内容など、ご自由にお書きください。

(自由記述) ※協働推進課で内容を要約・抜粋しています。

今後取り上げてほしいテーマに関すること

- ・まち協でのコミュニティビジネスの事例
- ・対話の練習、対話法の講義等
- ・高齢者の外出支援、買い物支援、アフターコロナ、ウイズコロナで取り組む支援
- ・地域の課題が見えにくい(わからない)場合はどうすればいいか、現状分析について
- ・高山市以外の地域のまちづくり事例
- ・今回の棚卸しの事例をもっと深められる学習
- ・町内会活動のこれから
- ・地域の抱える課題の共有方法、活動資金の捻出方法および解決手法
- ・地域学校協働活動

フォーラムの形式・運営に関すること

- ・対話型の集会、グループワーク、オンラインならブレイクアウトルームのトーク等を通して議論を深めてみたい。

感想

- ・北村先生から「イベントより事業」という、まち協の事業の棚卸の視点を分かりやすく教えていただいて、どのように地域課題解決に取り組んでいくべきか、という事をまち協の皆さまと一緒に考えていきたいです。
- ・地域の実態により、活動は様々で、ある意味何でもありなところがあります。ただ、例えば防

災という点で、市はここまでやるので地域にはこうして欲しいというようなことが示されると、より良い活動が生み出され、また、予算の有効活用にもつながると考えます。